

2008年度文学部卒業論文題目

行動科学科

- 勇 真理子 原因と結果の関係性 - ミュンヒハウゼンのトリレンマとの関連 -
- 佐藤 幸 ホップズの『リヴァイアサン』における自然状態の人間観について
- 高味 潤也 新聞記事において被害者情報が加害者への責任帰属へ及ぼす効果 - 加害者像知覚と被害者情報分解の二視点による再検討 -
- 菅原 豊 音声提示された日本語の語彙判断に周波数情報が与える影響
- 杉本 沙世 笑いについて とりわけ作り出されるおかしみについて
- 長沼 慎也 スポーツ観戦動機測定尺度の作成 - MSSCの翻訳と因子モデル構築の試み -
- 菱山みのり アニマルセラピーとはどういう場なのか
- 福島 拓也 肉体と器官を中心に据えた感性論
- 矢部 真吾 自己に関する対話
- 新井 那美 アメリカの可能性 - 多民族国家の生み出すエネルギー -
- 井口 由貴 幼児語・一般語との比較による「発音しにくいことば」の調査
- 石井 俊行 都市の中の農 市民農園 - マイナー・サブシステムの視点から -
- 一條 知代 イセエビ漁師と資源管理 - 千葉県大原を事例として -
- 伊藤 紗耶 哲学と自然科学の関係を巡って - ウィリアム・ヒューエルとソクラテスを手掛かりに -
- 伊藤 雄毅 歌詞の物語療法的効果
- 井上 瑞貴 「自己実現」に煽られる就職と結婚の狭間で
- 入内澤景吾 両眼視差により生じる奥行き知覚と残像の持続時間の関係

- 上野 温子 テレビCMの意義 - 携帯電話会社のCMからみる広告の力 -
- 枝川 千里 夫婦システムの維持 - 不満の周辺化 -
- 江馬 萌南 レオノーラ・エヴェリーナ・パイパーの交霊会にみる心の性質
- 大北 碧 家族的類似性をもつ事物への機能的等価性の獲得 - 共通の反応を媒介にして -
- 大竹 雅祐 ウェブブログを書くことが身体的、精神的健康に及ぼす影響
- 小川 裕子 事後情報の提示様式が目撃記憶の想起に及ぼす影響
- 小野 迪子 練習条件の違いによるピアノ演奏技術向上の検証
- 加賀沙智美 衝動性の機能性・非機能性とBIS/BASモデルの関連性に関する検討
- 蠅本 麻紀 ファミサポの独自性と魅力 - 「ちばしファミリー・サポート・センター」インタビュー調査から -
- 川戸 恵子 不変的「空気」の可変性
- 北原 崇寛 ループ化する社会
- 城戸佐和子 運動に基づく群化が映像の印象形成に与える影響
- 金原 和哉 ハトにおける見えない境界知覚についての検討
- 久保田雅子 認知スタイルによる心の理論能力の個人差の検討 - 脳の半球優位性の指標から -
- 黒岩 由佳 顔の左右における表情表出の違いについての検討
- 黒柳 利一 オタクの持つ「パロディ」精神
- 桑名 史仁 精神障害者に対する権利の規制のあり方について - 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」を切り口として -
- 小出 美希 空気を読む“やさしい”若者たち - 他者指向の社会に生きるとは何か -
- 鯉沼 高宏 ソーシャルネットワークサービスの紡ぐ自己
- 小塚 聡美 情動喚起に対する自己生成手掛かり効果は、表情模倣の個人差によって予測されるか？

- 小林 朝子 若者が語る子ども観
- 近藤 功 ハトにおけるメタ認知の検討
- 近藤 浩樹 現在社会における霊性 - 恐山イタコまつりの事例から -
- 幸田 宏子 ツーリズム経験が精神的健康に及ぼす効果
- 坂田なお子 『論衡』の運命論的世界観における性命論について
- 阪田 祥章 ヘラクレイトス再考 - そのロゴス概念を中心に -
- 酒寄 貴衣 自己開示が販売員の職務満足度と消費者に与える影響について
- 澤井 大海 ハトにおけるプライミング効果と抑制効果の検討
- 柴田 麻衣 ケアワーカー - 伝えて魅力、変えて現状!!
- 社本 歩 ハーバースの討議倫理の検討 - ポスト慣習社会における道徳の探究 -
- 鈴木 真以 顔の記憶に及ぼす表情と印象形成の影響
- 仙葉亜沙美 次世代に魅せる文化 - サークルにおける知識伝達と付き合いを通して -
- 田川 夏子 注意容量の操作が見落とし現象に及ぼす影響についての検討
- 武井 一樹 「色盲のメアリー」、或いは太陽系の友人達と「究極の問題」について
- 田中 小春 両眼視野闘争によって生じる見えの変化と瞳孔反応との対応についての検討
- 千葉 夏実 美の本質とは - 三島由紀夫にみる滅びの美 -
- 東山 英治 カウンセリング場面におけるアダプタ生起の時間的構造の分析
- 富沢 佑生 映像が音楽の印象に及ぼす影響 - 音源についての判断の影響 -
- 中澤 結 心的機能の個人差としての性差 - 生物学的性差と脳機能の性差の比較 -
- 中嶋 亜紀 音楽認知の個人差に及ぼす認知スタイルと性差の影響
- 中野 郁子 M. ハイデガー『存在と時間』
- 中山 陽平 自伝的記憶の想起に及ぼすポジティブ感情の効果 - 自伝

- 的記憶の領域構造の観点から -
奈良真友子 若者の自立 - 社会的ネットワーク論を交えて -
難波 美芸 バックパッカーと「外こもり」- 社会的背景と移動の関
係 -
丹羽 智子 顔画像を用いた視覚探索課題
芳賀 優 9.11に見る「アメリカ教」とイスラーム
萩田 文乃 流山にみる郊外のゆくえ
広川 郷史 着地型観光が観光地にもたらす意味とは - 館山市の事例
から -
二川 晃子 ファッション誌は増殖しない
星野 志保 清里らしさ - 観光地の問題と利点 -
牧野 公貴 ハトにおけるゴール探索での視覚情報の影響の検討
村井 琢真 BGM聴取による作業妨害効果の検証 - 課題特性と「聞き
流し」効果について -
森川 彰博 Particle Swarmを用いた認知モデルにおける情報通信構
造が及ぼす影響の検討
森廣 真澄 禅寺の民俗誌 - 坐禅会から見る宗教の諸相 -
山下 祥平 変わりゆく里山 信じる価値観 共に歩いてゆく市民たち
山下 祥広 視覚ターゲット検出課題における視聴覚の定位効果と注意
喚起効果の検討
山根 彩香 目的の差異が学習プロセス及び概念形成に与える影響につ
いての検討
山本 真央 高齢者大学の在り方
山本 裕子 自己価値の認識が職務満足度に及ぼす効果 - 美容院従業
員の操作による検討 -
吉田 真也 日常マンガのエスノメソドロロジー - 生きづらい世の中に
「癒し」を求めて -
渡邊 萌子 Foreground配色とBackground配色によるStroop効果の
違い
千葉 和矢 インターネットにおける親密なコミュニケーションの提示
- セカンドライフから考察するコミュニケーションと関

- 係性 -
- 中里由佳絵 変わり続ける歴史展示 - 国立歴史民俗博物館を例として -
- 大杉 直也 課題の解法獲得における具体例の有効性
- 田中 望 文中エラー発見におけるバイリンガルとモノリンガルの比較
- 武藤 沙羅 和音認知における音律と音色の効果の検討
- 吉次 博昭 医師不足問題とは何なのか - 医師の意識から現代の医療問題を探る -

史学科

- 笠原 大輔 近ヨーロッパの砂糖交易 - ボルドーの事例を中心に -
- 佐々木恒洋 春秋期の楚における旧県と新県の比較考察
- 小山 正人 群馬事件 - 「近世」と「近代」のあいだで -
- 峰崎 駿 箕作元八のフランス革命叙述に見る歴史学
- 芳賀 優一 国立国会図書館をめぐる諸要求
- 藤田 宏一 岩泰島小作争議 - 1920年代前半期の文化統治下にみる農民運動 -
- 阿部麻衣子 11-12世紀南西フランスにおけるロマネスク彫刻の意味と機能 - ショーヴィニー、サン・ピエール教会堂内陣柱頭彫刻《人喰竜》をめぐる一考察 -
- 天沼 俊一 蕨手刀の分布と変遷についての一考察
- 加藤 大揮 笠松形文様から見る三角縁神獸鏡の型式学的編年の再検討と編年試案
- 倉方 慶明 1940-1950年代初頭のイランにおける労働運動の展開 - 石油産業地帯における労働運動の変遷の検証を通して -
- 甲田 守 明治元年から二十年代までの伝統芸能における天皇との関係 - 天覧を中心として -
- 小松 泰斗 琉明関係における福建華人の活動
- 坂部 泰斗 公害訴訟の過程とその問題点 - 千葉市の事例を中心に -

- 塩坂友美子 花車の成立に関する一考察
柴田 真央 鎌倉幕府中期の文化について - 和歌を中心に -
清水 建 1930年代の在神ムスリムコミュニティの諸活動について
高木 真澄 ラティモアの対中政策論と米国の対中政策方針、1947-1949
- 竹内 翔馬 18世紀以降の中国の聯宗について
竹内ゆかり 江戸出開帳の盛衰 - なぜ信州善光寺の出開帳は行われなくなったか -
- 田嶋 智子 アポリジニ美術 描かれた神話世界とメッセージ
蔦井 亮佑 近代中国の地方自治運動と思想 - 梁漱溟王の山東鄉村建設運動を中心に -
- 富永裕太郎 在地社会における摂津渡辺党遠藤氏の社会的地位 - 四天王寺執行の系統を中心に -
- 中村 剛 神子柴・長者久保型石器の分析と編年
浜井 優希 声優の息芝居の有用性についての検証
廣瀬 絵理 「女性シュルレアリスト」の描く女性像 - 現実の女性芸術家像、レオノール・フィニとレメディオス・パロを中心に -
- 藤井さち子 近世京都の町共同体と借家関係 - 借家請状からみる請人の性格変化 -
- 藤島 新也 近世における王子権現社と別当金輪寺 - 幕府との関係を中心に -
- 戸来 敬太 戦国期千葉氏と臼井原氏の研究 - 後北条氏との関係を中心に -
- 松下 祐実 ラファエロの祭壇画作品にみる「観者」の役割の展開 - 「聖会話」の主題を中心として -
- 松平 望美 千葉県師範学校付属小学校の「自由教育」における意義と限界
- 守永 泰寛 戦国大名印判状の出現経緯 - 禅林以外の印章の系譜を踏まえて -
- 渡邊小百合 ハンス・ベルメールの人形と日本に於けるその受容について

て

- 渡辺 紀子 飛鳥時代における浄土教 - 天寿国曼荼羅繡帳に描かれた
浄土世界 -
- 宮下美砂子 日本・満州国における「銃後のモダン・ガール」- 総力
戦体制下の女性表象をてがかりに -
- 山城 泰幹 沖縄近代美術史の「国境線」- 「連関性」による「東アジ
ア近代美術史」の提案 -

日本文化学科

- 土屋 梓 黒岩涙香 - 探偵小説「無惨」私論 -
- 田村 明子 芥川龍之介論 - ヒロイン像の変遷 -
- 伊井ひろみ 「中島敦」論 - 「光と風と夢」を中心に -
- 石井 昂澄 スサノオ神話 - 古事記を中心に -
- 岩清水香織 近代文学における性的趣向について
- 大岩 智子 家と先祖
- 大崎 忍 古代の母の力 - 日本霊異記を中心に -
- 小倉 真紀 若者における共感的表現
- 小野麻里子 私が東京ディズニーリゾートを楽しむ方法
- 神尾 甚平 アイヌ民族の生業の変容 - 近代化における狩猟と農耕 -
- 蒲生百合子 古代日本の信仰 - 自然信仰を中心に -
- 栗宇 広樹 鳥山石燕考
- 児玉 達也 羽衣伝説にみる性格
- 小松 美保 江戸読本にみられる侠客の研究
- 佐渡里恵子 菊池寛論 - 芥川龍之介との関係を中心に -
- 清水なつき 江戸の読み書き - 往来物に見る親の関わり -
- 清水 舞 日本語の授受表現について - 補助動詞「ていただく」の
誤用から見る授受表現の待遇性を中心に -
- 鈴木 麻美 婚礼衣装における色彩の象徴性
- 高橋 宏光 三善為康とその周辺
- 田邊 洋子 説話に描かれる女性
- 東條 友美 日本語学習者の勧誘談話行動

- 永久保佳宏 接触場面における「遊び」としての「からかい」
西 彩美 初級日本語学習者の日本語能力について - 終助詞「よ」「ね」について -
- 野口茉莉絵 依代 - 神を具現化する方法 -
橋本友紀恵 近代における女房詞の継承と変容
濱田麻友美 長野県北信方言の研究 - 動詞述語を中心に -
松下 美希 若い世代における笑いの機能 - 初対面会話に見られる笑いに着目して -
- 的場由希子 一歳の誕生日を祝う - 初誕生の祝い -
毛呂 有希 日本語学習者の授受表現に関する研究 - 中・上級者のストーリー作成の分析をとおして -
- 矢島 美穂 栃木県方言における命令・依頼表現の研究
山本 彩加 近代日本語における外国地名の漢字表記

国際言語文化学科

- 木元 卓司 子ども向けアニメから見る日本とアメリカのアニメ文化の違いについて
- 清水 康平 イラク人質事件から見えてくるもの - 市民とジャーナリズム -
- 近郷 麻衣 日独語におけるオノマトペの対照比較
青木 麻衣 ピクトル・エリセに見る映画が捉えるもうひとつの世界
阿部 衛 タキトゥス『年代記』におけるゲルマニクス
池田 彩子 フランス国歌『La Marseillaise』が歌い継がれる理由
一関由美子 The Question of Identity and Imagination in Amitav Ghosh's *The Shadow Lines*
- 伊藤 由惟 ガイドブックのまなざしの比較 - スペイン観光における日本とヨーロッパの意識の違いを読み取る -
- 井上万里枝 American Women Living Between Liberation and Repression
- 今井 綾香 ペドロ・アルモドバルの象徴表現世界：『VOLVER (帰郷)』における赤のイメージ

- 小沼 寛克 日本における少子化対策の検討
 勝志明祥夏 Jamaica Kincaid's *Annie John*: Postcolonialism and Female Identity
- 菊池 七穂 アゴタ・クリストフ三部作と双子のテキストの關係
 久保満理奈 ラフカディオ・ハーン研究 - 日本理解のあり方 -
 黒川奈々子 差異がもたらす自由と能動性 - バフチンとドストエフスキーの対話 -
- 侯 林 Hollywood's Asian Feature and Its Function of Cultural Hegemony
- 呉 婉甄 「よそ者」におけるアイデンティティの変容 - 『千と千尋の神隠し』をめぐって -
- 佐藤 英武 ナチス期から現在までのロマ差別について
 杉浦 志保 イリヤ・カバコフの作品にみる「まちおこし」とアートの関係性 - 越後妻有トリエンナーレを事例として -
- 鈴木 千咲 The Trap of the Development Aid Projects for Women and Children
- 瀬村 恵美 『靴に恋して』における象徴表現とそこから読み取れるスペイン文化の現状
- 宗 絢子 Changing Views of the Witches
 立花 裕梨 Reconsideration and Reinvention of Identity in *Mona in the Promised Land*
- 田中 芳恵 Passing and Its Power in American Society
 田上 勇氣 シュリヌール、或いはフランクールについて - ウージェーヌ・シュエ、『パリの秘密』の民衆観 -
- 鴉田 有香 アレクサンドル・ソクーロフ - 作品に見る権力者描写 -
 戸田 尚子 The Reception of African-American Leaders in American Popular Culture
- 橋本 茜 フリーダ・カーロの絵に見る男性像・女性像
 東山 真人 An Analysis of Love Stories
 廣井 亜季 ジュール・ヴェルヌ『地底旅行』について - 地球内部の描写を中心に -

- 藤川恵一郎 A Patriot Filmmaker : An Analysis of Michael Moore
法量 悠輔 The Origin and Development of -Ing Forms in English
箕輪 直通 マンガインターナショナル - その可能性と、漫画・アメリカンコミックス・バンドデシネの比較 -
- 三好 由華 African-American Rock Musician's Struggle for Racial Equality
- 武藤 織衣 The Problems of Being Between Two Cultures : First and Second Generation Immigrants' Journey in Jhumpa Lahiri's The Namesake
- 村越 恵美 On Chang-rae Lee's Native Speaker
吉成 貴裕 The Image of Ernesto Che Guevara : Its Political Meaning and Commercialization
- 渡辺 寛子 An Attempt to Perform a Shakespearian Play in the Noh-Theatre : Kurita's Production of Macbeth'07 in Ryutopia Noh-Theatre Shakespeare Series
- 太田和加奈 C. D. フリードリヒ『バルト海の十字架』と『霧の上の放浪者』をめぐる考察
- 唐沢 里子 『千と千尋の神隠し』 - ファンタジーの中のリアリティー